

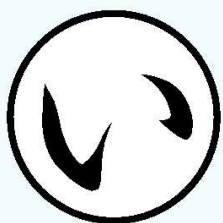
もう一度 振り返ろう！ フォークリフトの



フォークリフトは、業務に
欠かせない重要な設備ですが、
僅かなミスや注意不足が
製品事故や労災事故に繋がる
こともあります。

今日はそんな**フォークリフト**
の基本をもう一度振り返ってみ
ましょう！





“一時停止”でひと呼吸

A. 行動前の一時停止は、事故の防止にとっても役立ちます。

- リフトの事故の主な原因 = 焦りや思い込み・確認不足
- 一時停止のクセをつけると = 製品事故・リフト事故 防止に役立ちます



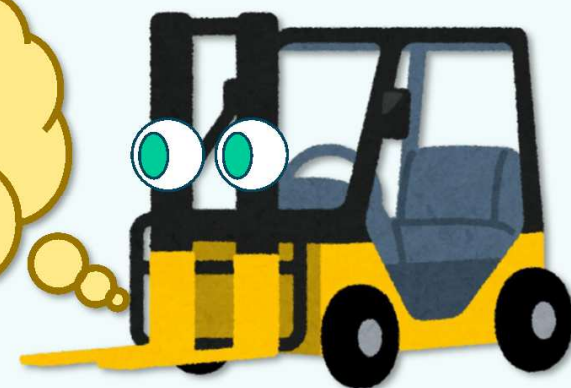
深掘り!

1,2のワン!クッションが 事故を減らします

- 行動に移る前、「1..2..」と頭の中で数えてみてください。
 - 目視による状況把握で、製品事故や荷崩れの防止
 - 脳のスイッチの切り替えによる、焦りやヒューマンエラーの防止
 - 移動・荷役の動作を確実に切り替えられる



1...2.. ヨシ!



③ 労災防ごう 複合操作の防止

A. 複合操作とは、荷役や走行等の操作を同時に行う事です。

- 走行しながらのリフト操作 = 重心の不安定化、遠心力による事故 に繋がる
- 操作の複雑化 = 操作ミスや注意力の低下 などの原因に



深掘り!

ステップ・バイ・ステップ
を心がけましょう

- フォークリフトの操作は 単独操作（1操作を確実に）が原則 です。
- 複合操作 = 早い 単独操作 = 遅い と思われがちですが…
 - 複合操作により荷崩れや破損が発生すると大きなタイムロスに
 - 注意力の分散が重大な労災事故につながる可能性
- トラブルの回避により、結果的に時短につながる 行動と言えます。

一步一步
確実に…!



は 幅を合わせてガッチリ掴もう

A.パレットの特徴を理解し、リフトの爪の幅を調整しましょう。

- ▣ 爪の間隔の目安 = パレット幅に対して4分の3 が基本
- ▣ パレットの爪の間隔 = 操作と同じくらい安全作業に寄与 する大事な要素



深掘り!

パレット上の荷物 も 影響を与える場合があります

- ▣ 荷物がパレットから大きくはみ出している = 出来る限り広め（外寄り） に
 - ▣ 出来るだけ広い面で力を支え、荷物やパレットのたわみを軽減する
- ▣ 重く小さい荷物がパレットの中心に乗っている = 標準よりやや狭め に
 - ▣ 爪を荷物の重心に出来るだけ近づけることで安定する

